

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1105	(H.24)No.	1105
-----------	------	-----------	------

事務事業名		農地・水保全管理支払交付金事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林資源室		西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	19年度～	平成	23年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	5	計画的な集落環境整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	326501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	農地・水保全管理支払交付金事業	
項	農業費	(小事業名)	
目	農業基盤整備費	農地・水保全管理支払交付金事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>共同活動への支援～一定のまとまりを持った地域において、農業者だけでなく地域住民等が参画して社会的共通資本である農地・農業用水等の資源を、将来にわたり適切に保全し、質的向上を図る活動組織を支援する。          向上活動への支援～老朽化が進む農地周りの農業用排水路・農道などの施設の長寿命化のための補修、更新等を行う組織を支援する。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>地域に於いて農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域ぐるみでの効果の高い共同活動と、施設の長寿命化のための向上活動の自発的な継続を目指す。</p>	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	共同活動支援交付金(地域ぐるみ活動支援) 7地区(赤目町丈六、短野・下三谷、滝之原、鷲山、結馬、矢川、上三谷)取組対象面積 合計 A = 158.97ha 事業負担金 1,692千円 向上活動支援交付金(農業用施設の維持補修等を実施) 2地区(赤目町丈六、短野・下三谷)取組対象面積 合計 A = 37.32ha 事業負担金 391千円 事務費 101千円	共同活動支援交付金(地域ぐるみ活動支援) 7地区(赤目町丈六、短野・下三谷、滝之原、結馬、矢川、上三谷、黒田、井手、布生上出)取組対象面積 合計 A = 202ha 事業負担金 1,765千円 向上活動支援交付金(農業用施設の維持補修等を実施) 2地区(赤目町丈六、短野・下三谷)取組対象面積 合計 A = 37.32ha 事業負担金 391千円 事務費 101千円	補助金・交付金	その他 ( )	
	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)		
直接事業費	2,184千円	2,193千円	2,193千円	2,193千円	2,193千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	100	100	100	100	100
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 2,084	2,093	2,093	2,093	2,093
人工数					
職員	0.23人	0.14人	0.14人	0.14人	0.14人
臨時職員等	0.11人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 1,866千円	1,039千円	1,039千円	1,039千円	1,039千円
+ 総事業費	(0千円) 4,050千円	3,232千円	3,232千円	3,232千円	3,232千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	75.0
	実績		73.2	75.4	71.7	70.1	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
水田や水田畦畔を活用した景観作物の植栽が行われ、また農地、農業用施設、地域の農村環境の保全を図ることができた。	当交付金を活用した地域での農地、農業用施設、農村環境を守る活動が活発に実施されているため現行どおり継続していく必要がある。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
農村地域の住民の高齢化が進み活力の低下が予想されるため、当交付金を活用した取組みの継続が必要である。	新規に取り組む事業関係者からは、中心となる役員が高齢であるので、提出すべき書類の作成に苦慮するとの意見。また、従前(1期)から引き続き取り組む事業関係者からも、以前に比べ提出書類の簡素化は進んだものの、同様に書類の作成には苦慮するとの意見。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	地域での活動の充実を図る
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

当交付金を活用した地域での農地、農業用施設、農村環境を守る活動が活発に実施されているため現行どおり継続していく必要がある。

特記事項